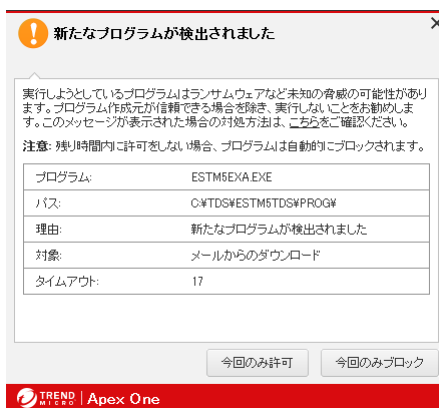
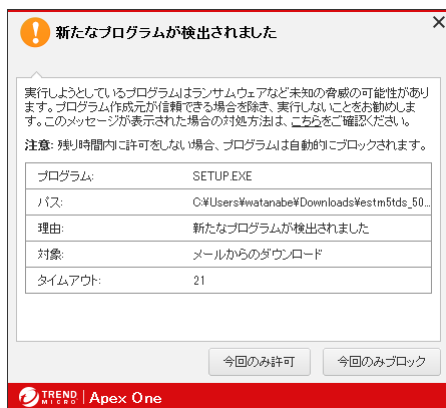


# Trend Micro Apex Oneをご利用のお客様

トレンドマイクロ社のApex Oneがインストールされているコンピュータで、TDSアプリのセットアップ時や起動時、または編集中に以下のようなエラーが発生し正常に動作しない場合がございます。

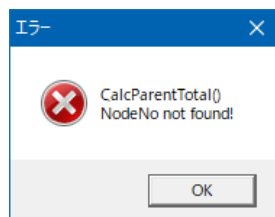
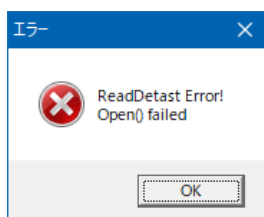
(必ずしもこのようなメッセージとは限りません)

## 画面1



## 対処方法1

## 画面2

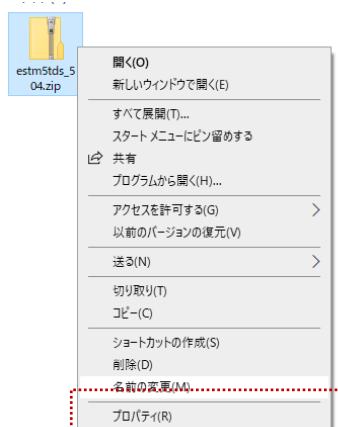


## 対処方法2

## 対処方法1

### ❖ セットアップ時の場合

TDSアプリケーションダウンロードサイトなどからダウンロードしたセットアップファイルを実行して **画面1** (左) が表示された場合は、ダウンロードしたZIPファイルの右クリックで「プロパティ」を開いて画面下部の「セキュリティ」内の「許可する」にチェックを付けて下さい。



## ◆ アプリ起動時の場合

インストールやリビジョンアップ後のアプリ起動時に **画面 1 (右)** のような画面が表示された場合はApex Oneのエージェント管理にて **〔挙動監視設定〕** の **〔除外〕** で**承認済みプログラムにフルパスを登録**します。

**承認済み登録の操作方法是ここでは省略させていただきます。**

**〔見積〕 V の場合**

C:\TDS\ESTM5TDS\PROG\ESTM5EXA.EXE

上記は〔見積〕Vの例ですが、他のアプリでもこのようなメッセージが表示された場合には画面に表示されている **パスとプログラム** を連結したパス (C:\TDS\ESTM5TDS\PROG\ESTM5EXA.EXE) を承認済みリストに追加して下さい。

**新たなプログラムが検出されました**

実行しようとしているプログラムはランサムウェアなど未知の脅威の可能性があり、プログラム作成元が信頼できる場合を除き、実行しないことをお勧めします。このメッセージが表示された場合の対処方法は、こちらをご確認ください。

注意: 残り時間内に許可をしない場合、プログラムは自動的にブロックされます。

プログラム:	ESTM5EXA.EXE
パス:	C:\TDS\ESTM5TDS\PROG\
理由:	新たなプログラムが検出されました
対象:	メールからのダウンロード
タイムアウト:	17

今回のみ許可

今回のみブロック

**間違いのないようにフルパスを入力して下さい。**

## 対処方法 2

TDSアプリケーション起動中に **画面 2** が表示された場合は、Apex Oneのエージェント管理にてリアルタイム検索の除外リストに登録する必要があります。

### ◆ 確認事項

まずTDSアプリの **【ファイル】** メニュー内 **【パス設定】** で以下の赤枠部分を確認して下さい。赤枠内に設定されているパスを検索除外のリストに登録します。画面にないアプリの場合も同様に確認して下さい。

#### ○ 【見積】 Exa

The 'パス設定' dialog for 'Exa' shows the following settings:

- データファイル用フォルダ:
  - データ(D): C:\Users#watanabe#Documents#Userデータ
  - テキスト(T): C:\Users#watanabe#Documents#Userデータ
  - 枠組み構成(F): C:\Users#watanabe#Documents#Userデータ
- 作業ファイル用フォルダ (Red box):
  - 一時ファイル(E): C:\TDS\ESTM4EXA\TEMP
  - 作業データ(W): C:\TDS\ESTM4EXA\WORK
- マスタファイル:
  - コードマスタ(C): C:\TDS\NSUNMAST\DATA\CODEMAST.CDM
  - 名称マスタ(N): C:\TDS\NSUNMAST\DATA\NAMEMAST.NMM
  - 仕様マスタ(S): C:\TDS\NSUNMAST\DATA\SPECMAST.SCM
  - 単位マスタ(U): C:\TDS\NSUNMAST\DATA\UNITMAST.MUT
  - 備考マスタ(O): C:\TDS\NSUNMAST\DATA\NOTEMAST.NTM
  - 細目マスタ(M): C:\TDS\NSUNMAST\DATA\DTASMAST.DTM

#### ○ 【見積】 V

The 'パス設定' dialog for 'V' shows the following settings:

- データファイル:
  - システムパス(S): C:\TDS\ESTM5TDS\PROG
- 作業ファイル用フォルダ (Red box):
  - 作業ファイル用フォルダ(W): C:\TDS\ESTM5TDS\WORK
  - 一時ファイル用フォルダ(T): C:\TDS\ESTM5TDS\TEMP

#### ○ 【仕上】

The 'ファイルのパス設定' dialog for '仕上' shows the following settings:

- データファイル: C:\TDS\DFSYSYDS\DATA
- マスタファイル:
  - 一般用(L): C:\TDS\DFSYSYDS\MAST
  - 共有用(S):
- 明細変換ファイル: C:\TDS\DFSYSYDS\TEXT
- 一時ファイル (Red box): C:\TDS\DFSYSYDS\TEMP
- 作業ファイル:
  - 編集用(W): C:\TDS\DFSYSYDS\WORK
  - 演算用(M): C:\TDS\DFSYSYDS\TOTAL

#### ○ 【外構】

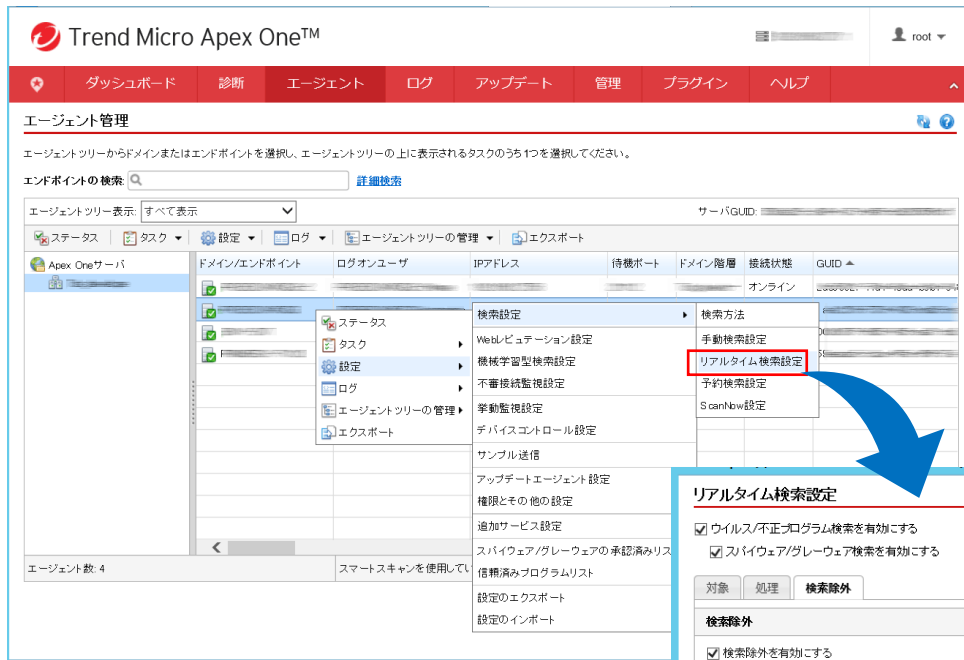
The 'ファイルのパス設定' dialog for '外構' shows the following settings:

- データファイル: C:\TDS\EXTRCTDS\DATA
- マスタファイル: C:\TDS\EXTRCTDS\MAST
- 明細変換ファイル: C:\TDS\EXTRCTDS\TEXT
- 作業ファイル (Red box):
  - 編集用(W): C:\TDS\EXTRCTDS\WORK
  - 演算用(M): C:\TDS\EXTRCTDS\TOTAL

次頁で設定方法について説明しています

## ◆ 設定方法

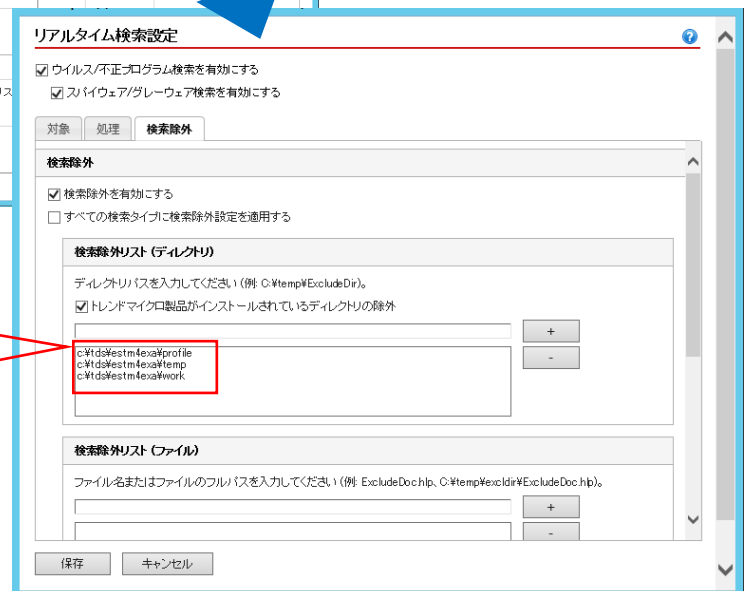
Apex Oneのエージェント管理にて **［リアルタイム検索設定］** の **［検索除外リスト（ディレクトリ）］** でパスを設定します。



### 【見積】Exaの場合

c:\tds\estm4exa\profile  
c:\tds\estm4exa\temp  
c:\tds\estm4exa\work

TDSアプリの **［パス設定］** で確認したフォルダ以外に **PROFILE** も設定が必要です。



### 【見積】Vの場合

c:\tds\estm5tds\profile  
c:\tds\estm5tds\temp  
c:\tds\estm5tds\work

### 【仕上】の場合

c:\tds\dfsystds\temp  
c:\tds\dfsystds\total  
c:\tds\dfsystds\work

### 【外構】の場合

c:\tds\extrctds\temp  
c:\tds\extrctds\total  
c:\tds\extrctds\work

### 【躯体】の場合

c:\tds\rcsystds\temp  
c:\tds\rcsystds\total  
c:\tds\rcsystds\work

### 【明細変換】の場合

c:\tds\estmgate\profile  
c:\tds\estmgate\work

### 【単価比較】の場合

c:\tds\subprice\profile  
c:\tds\subprice\temp  
c:\tds\subprice\work

### 【改修】の場合

c:\tds\prwktds\profile  
c:\tds\prwktds\total  
c:\tds\prwktds\work

**入力間違いがあると検索除外されませんので注意して下さい**

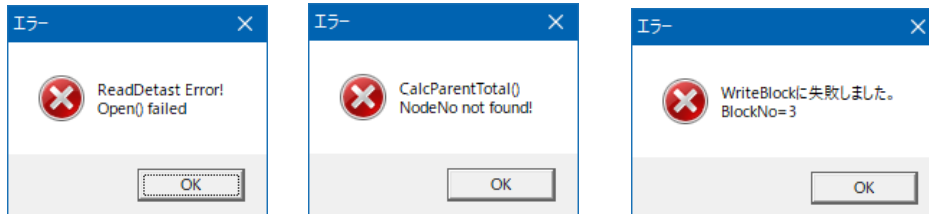
ご迷惑おかけいたしますがよろしくお願いいたします。

# Trend Micro ビジネスセキュリティをご利用のお客様

トレンドマイクロ社のビジネスセキュリティがインストールされているコンピュータで、TDSアプリの起動時や編集時に以下のようなエラーが発生し正常に動作しない場合がございます。

## 画面

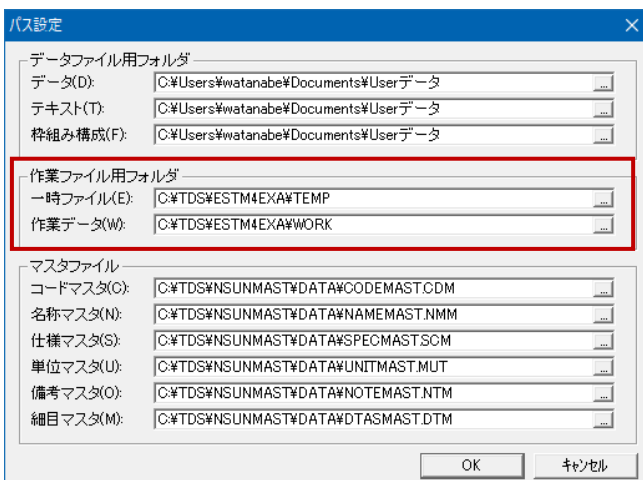
(必ずしもこのようなメッセージとは限りません)



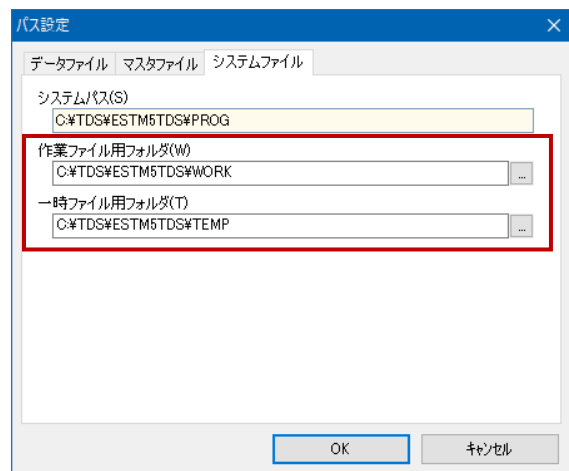
## ◆ 確認事項

まずTDSアプリの【ファイル】メニュー内【パス設定】で以下の赤枠部分を確認して下さい。赤枠内に設定されているパスを検索除外のリストに登録します。画面にないアプリの場合も同様に確認して下さい。

### ● 【見積】 Exa



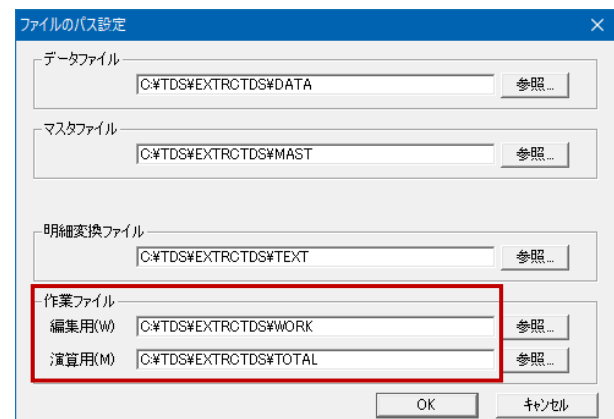
### ● 【見積】 V



### ● 【仕上】



### ● 【外構】



次頁で設定方法について説明しています

## ◆ 設定方法

以下の画面にて設定を行います。

- ① [検索除外リスト] の [リアルタイム検索／予約検索／手動検索] で **[+追加]** をクリックして以下のフォルダを登録して下さい。

▶ **[見積] Exaの場合**

c:\tds\estm4exa\profile  
c:\tds\estm4exa\temp  
c:\tds\estm4exa\work

▶ **[見積] Vの場合**

c:\tds\estm5tds\profile  
c:\tds\estm5tds\temp  
c:\tds\estm5tds\work

TDSアプリの [パス設定] で確認した  
フォルダ以外に **PROFILE** も設定が必要です。

- ② [検索除外リスト] の [挙動監視] 「承認済みプログラムリスト」の **[+追加]** をクリックして以下のファイルを登録して下さい。

▶ **[見積] Exaの場合**

c:\tds\estm4exa\prog\estm4exa.exe

▶ **[見積] Vの場合**

c:\tds\estm5tds\prog\estm5exa.exe

The screenshot shows the 'ポリシーの設定: デバイス (初期設定)' window. The left sidebar contains navigation links: ダッシュボード, セキュリティエ..., ユーザ, ポリシー, レポート, ログ, 管理. The main content area is divided into two sections.

**検索除外リスト** (Search Exclusion List): This section allows specifying folders, files, or file extensions to exclude from program searches. It has tabs for 'リアルタイム検索/予約検索/手動検索' (1) and '挙動監視' (2). Under the first tab, there are buttons for 'フォルダ (0)', 'ファイル (0)', and 'ファイル拡張子 (5)'. A '+ 追加' button is present. Below is a table with columns 'フォルダパス' and 'リアルタイム検索'. A callout box points to the 'リアルタイム検索' column with the text: **[見積] Exaの場合**  
c:\tds\estm4exa\profile  
c:\tds\estm4exa\temp  
c:\tds\estm4exa\work. Below the table are checkboxes for 'リアルタイム検索', '予約検索', and '手動検索', all of which are checked. There is also a section for 'スパイウェア/グレーウェア' with a '+ 追加' button and a message: 'スパイウェアまたはグレーウェアの除外は追加されていません。[追加] をクリックしてスパイウェアまたはグレーウェアの除外を指定します。'

**挙動監視** (Behavior Monitoring): This section allows specifying programs to be approved or blocked. It has tabs for '承認済みプログラムリスト (0)' and 'ブロックするプログラムリスト (0)'. Under the first tab, there is a '+ 追加' button. Below is a table with columns 'プログラム' and 'ファイルパス'. A callout box points to the 'ファイルパス' column with the text: **[見積] Exaの場合**  
c:\tds\estm4exa\prog\estm4exa.exe. At the bottom right are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

入力間違いがあると検索除外されませんので注意して下さい